

事業番号	20
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	家庭教育推進事業(家庭教育学級)				担当課	社会教育課	
事業期間	開始年度	昭和47年度 ~	終了予定年度		担当係	社会教育係	
総合計画	めざすまちの姿	1 人が育つまち					
	目標	④ 子どもを健やかに育てる(社会教育)					
	成果指標	家庭教育学級の学級生の数	中間目標(H27)	250人	最終目標(H32)	280人	
予算区分	一般会計	10 款 教育費	6 項 社会教育費	2 目 生涯学習推進費			
	細事業	284 生涯学習推進費					
位置づけ	関連計画	新・湖西市総合計画					
	根拠法令						
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 (
対象(誰のため)	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的(何のため)	子どもたちを健やかに育てるために、家庭の教育力の向上を目指す。						
内容(概要)	子どもたちの健全育成と子育てを支援するための「家庭教育学級」を開催することにより家庭教育の充実を図る。特に親子のふれあいを重視し活動するとともに、学級運営の自主的な運営が出来るよう支援・指導をしていく。						
これまでの改善・見直しの状況	12月に行う、市内の学級生が一堂に集う中央研修会の会場を、以前は市民会館のホールで行っていたのだが、これを改めて勤労者体育センターとした。駐車場の問題があるが、会場は広くて明るいため、学級生には概ね好評をいただいた。						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	399	547	550	(内訳)
	決算	459	387		物件費(旅費、消耗品費、食糧費、保険料) 299
財源内訳	国庫支出金				補助費等(報償金) 88
	県支出金				387
	地方債				
	その他				
	一般財源	459	387	550	
職員人件費	578	523	995	人工	0.1 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
活動指標	学級生の満足度	%	目標	80%	80%	80%	122%
		実績	96.1%	97.5%			
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
実績・改善	平成23年度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校区の運営委員の取りまとめ及び運営委員会の開催 活動毎にアンケートを取り、充実度調査を行っているが、どの学校も充実度は8割を越えている。自主的な運営も行われており、家庭の教育力充実に大きく貢献していると考えられる。					
	課題・問題点となった事項	<ul style="list-style-type: none"> 役員の選出 運営委員を決定する際に、岡崎や新居や鷺津小といった大規模校はなかなか決まらない。					
	どう対処したか	先生と相談しながら決めさせていただいているのが現状である。本来は自薦や他薦によって満場一致で決めるのが理想であるが、なかなか難しい。					
	改善点	運営委員が独り立ち出来るように定期的に運営委員会を開催し、情報交換の場とした。				効果額 H24-H23 (千円)	
自己評価	事業目的の達成状況	家庭教育の充実をさらに図るよう、当面の目標である250人を目指して参加してもらうよう働きかけを行う。					
	※必要性 事業を廃止・休止したときの影響	家庭の教育力は核家族化が進みとともに年々弱くなっており、事業の更なる充実が求められる。					
	判定	A 継続	現行の内容で実施	事業主体	市		
	判定理由	必要性でも記載したとおり、家庭の教育力は年々弱くなっている。ふたば学級に参加いただいている方については、アンケートにより満足度（5段階評価で4か5の率）が80%を越えているため、継続して事業を行う。					
今後の方向性	運営委員が独り立ちして運営が上手くいくよう、事務局サイドで手助けを行っていく。						